

専門実践教育訓練明示書(様式例)

講座の名称	理学療法学科				
実施方法	① 通学 (昼間・夜間・土日) ② 通信 スクーリング(回数 回)				
指定講座番号(15桁)	4110014	—	1910011	—	0
講座の創設年月日	専門実践教育訓練給付金対象講座の指定期間	過去一年の講座実績	入講者数(111 人)	修了者数 (41 人)	
平成 23 年 4 月 1 日	令和 10 年 3 月 31日まで				
訓練期間	36ヶ月		総訓練時間	3120時間	
1. 教育訓練目標					
①取得目標とする資格の名称、目標レベル		<input checked="" type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格 (理学療法士) <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程 () <input type="checkbox"/> キャリア形成促進プログラム () <input type="checkbox"/> 専門職大学院 () <input type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム () <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格 () <input type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座 () <input type="checkbox"/> 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科 ()			
		教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等 ・保健師、助産師学校養成所受験資格 ・4年生看護大学編入受験資格 ・専門士の称号			
②①に係る資格・試験等の実施機関名称		厚生労働省			
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等		本校にて履修すべき科目のすべてにおいて単位修得の認定(127単位)を受けた者については、学校運営会議において学校長が卒業を認定する。			
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況		病院・介護老人保健施設等で理学療法士として活用される。			
2. 教育訓練の内容					
教科 (カリキュラム)		時間	使用教材名		
基礎分野	心理学	30			
	統計学	30			
	情報処理	30			
	物理学	30			
	基礎共用	30			
	対人関係演習Ⅰ	30			
	対人関係演習Ⅱ	30			
専門基礎分野	解剖学Ⅰ	30			
	解剖学Ⅱ	30			
	生理学Ⅰ	30			
	生理学Ⅱ	30			
	運動学Ⅰ	60			
	運動学Ⅱ	30			
	運動学演習Ⅰ	30			
	運動学演習Ⅱ	30			
	人間発達学	30			
	リハビリテーション基礎医学Ⅰ	30			
	リハビリテーション基礎医学Ⅱ	30			
	医学概論	30			
	病理学概論	30			
	整形外科学	30			

専門基礎分野	内科学	30	
	神経内科学	30	
	臨床心理学	30	
	精神医学	30	
	リハビリテーションと理学療法Ⅰ	30	
	リハビリテーションと理学療法Ⅱ	30	
専門分野	基礎理学療法学Ⅰ	30	
	基礎理学療法学Ⅱ	30	
	生活機能演習	30	
	臨床運動学演習Ⅰ	30	
	臨床運動学演習Ⅱ	30	
	理学療法管理学	30	
	基礎評価学演習Ⅰ	60	
	基礎評価学演習Ⅱ	60	
	基礎評価学演習Ⅲ	60	
	臨床評価学演習Ⅰ	30	
	臨床評価学演習Ⅱ	30	
	運動療法学演習	60	
	物理療法学	30	
	日常生活活動学演習Ⅰ	30	
	日常生活活動学演習Ⅱ	30	
	義肢学	30	
	装具学	30	
	中枢神経疾患の理学療法学Ⅰ	60	
	中枢神経疾患の理学療法学Ⅱ	60	
	運動器疾患の理学療法学Ⅰ	60	
	運動器疾患の理学療法学Ⅱ	60	
	内部障害系疾患の理学療法学Ⅰ	60	
	内部障害系疾患の理学療法学Ⅱ	60	
	小児疾患の理学療法学	30	
	理学療法学技術演習Ⅰ	60	
	理学療法学技術演習Ⅱ	60	
	理学療法学総合学習Ⅰ	60	
	理学療法学総合学習Ⅱ	60	
	理学療法学総合学習Ⅲ	60	
	生活環境学	30	
	地域理学療法学演習	30	
	臨床実習Ⅰ	45	
	臨床実習Ⅱ	45	
臨床実習Ⅲ	360		
臨床実習Ⅳ	450		

3. 受講者となるための要件（この講座を受講するために必要とされている条件など）

①受講するに当たって必要な実務経験等	なし
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	高等学校を卒業、もしくは高等学校卒業程度認定試験に合格をした者
③その他	本校の実施する入学試験に合格した者

〔特記事項〕

--